

Wの悲劇 (Tragedy In W)

観賞日 2022年2月14日

【概要】

制作 1984年 上映時間 108分
監督 澤井信一郎
原作 夏樹静子 『Wの悲劇』(1982年)
脚本 荒井晴彦・澤井信一郎
音楽 久石譲 主題歌 薬師丸ひろ子
撮影 仙元誠三
出演 薬師丸ひろ子 (三田静香)、三田佳子 (羽鳥翔)、世良公則 (森口昭夫)
高木美保 (菊地かおり)、三田村邦彦 (五代淳)、蜷川幸雄 (安部幸雄)



【あらすじ】

劇団研究生で20歳の三田静香は次回公演「Wの悲劇」のヒロイン和辻摩子役を狙っていた。ライバルは同じ研究生の菊地かおりと宮下君子。オーディションの結果、摩子役はかおりに決まり、静香はせりふが一つの女中役になった。元役者志望で現在は不動産屋の森口昭夫が静香の恋人に名乗りをあげる。静香が女優に見切りを付けたら二人は結婚、女優として成功をおさめたら昭夫が静香に花束を届けて別れるという約束をする。ある晩、静香は劇団の看板女優で「Wの悲劇」でも主演を務める羽鳥翔に強引に部屋に連れ込まれ驚きの光景を目にする。翔のパトロンである堂原良造が腹上死していたのだ。そこで、翔は静香に悪魔のささやきを行う。良造は静香の部屋で死んだことにして、その代わり次の東京公演では静香を摩子役に抜擢するという提案である。静香はその提案を受け容れる。東京公演の初舞台は大成功をおさめ、静香は女優として認知されるが・・・。

劇中劇と映画の内容がリンクした演出。和辻家の悲劇。女性の悲劇。主演の薬師丸ひろこが本物の女優になったと評価を受けた薬師丸の代表作。

【解説】

■ポイント

●夏樹静子 (1938年～2016年)

- ・東京都出身の推理作家。「蒸発」(1973年)で日本推理作家協会賞受賞。
- ・エラリー・クイーンと親交があり、クイーン作品のタイトルに因んだ本作がヒット。
- ・テレビドラマ化された作品は多数に上り、「日本のアガサ・クリスティ」と呼ばれた。

●薬師丸ひろ子 (1964年～)

- ・角川映画「野生の証明」(1978年)で映画デビュー
- ・その後、角川三姉妹の長女として「セーラー服と機関銃」、本作などヒットを連発、女優、歌手として角川映画を牽引。
- ・1985年、角川春樹事務所から独立後もテレビ、映画に出演し日本を代表する女優となる。



●受賞 (1986年・第9回日本アカデミー賞)

5部門でノミネートされ2部門で受賞
監督賞：澤井信一郎、助演女優賞：三田佳子

■見どころ

●主題歌 WOMAN

作詞：松本隆、作曲：呉田軽穂 (松任谷由実)、歌唱：薬師丸ひろこ
薬師丸の澄み切ったハイトーンボイスが響く名曲